

2026.01

AI伴走型 DXで 実現する 定時退社革命

地域の子どもたちの未来を創る

働き方改革モデル

SOFTDOING株式会社

01

私たちが直面した 2つの課題

企業の成長と地域貢献の
両立というジレンマ

課題の詳細



地域の課題 部活動の危機

中学校部活動の地域移行が本格化する中、岩手県内では指導者不足が深刻化しています。

専門的な経験を持つ社員がいるにも関わらず、業務の都合で応えられない状況がありました。

「このままでは部活動の存続が危うい」



社内の課題 長時間労働

社員の多くは地域指導に強い意欲を持っていましたが、長時間労働がその実現を阻んでいました。

社員の熱意と現実のギャップ が、組織全体の大きな課題となっていました。

「先生、今日は来ないの?」

目標設定

17:00

全社員定時退社

DXは「目的」ではなく「手段」

DXの目標を「17:00定時退社」と設定。

その真の目的は「17:30からの地域練習への参加」です。

地域貢献を最上位のゴールとして位置づけました。

02

取組の核心

なぜ「完全自動化」ではなく
「AI伴走型」なのか

AI伴走型DXの概要



AI伴走型 半自動化

会計・経理から開発まで全業務にAI伴走を導入。
社員のスキルを維持・向上させながら、**定型業務の80%削減**を実現。



柔軟なシステム構成

既製品70%・自社開発30%のハイブリッド構成。
総投資840万円で、**中小企業でも導入可能なモデル**を実証。



連携率 85%

グループウェアをハブに85%のシステム間連携を達成。
二重入力を排除し、**月次決算は10日から3日へ短縮**。

03

成果① 経営V字回復と 圧倒的効率化

投資を上回る定量的な成果

各部門における業務時間削減

一般事務 (定型業務)

80% 削減

月次決算 (10日→3日)

70% 削減

採用リードタイム

70% 削減

アプリ制作期間

50% 削減

投資対効果 (ROI)

総投資額

840万円

年間削減効果

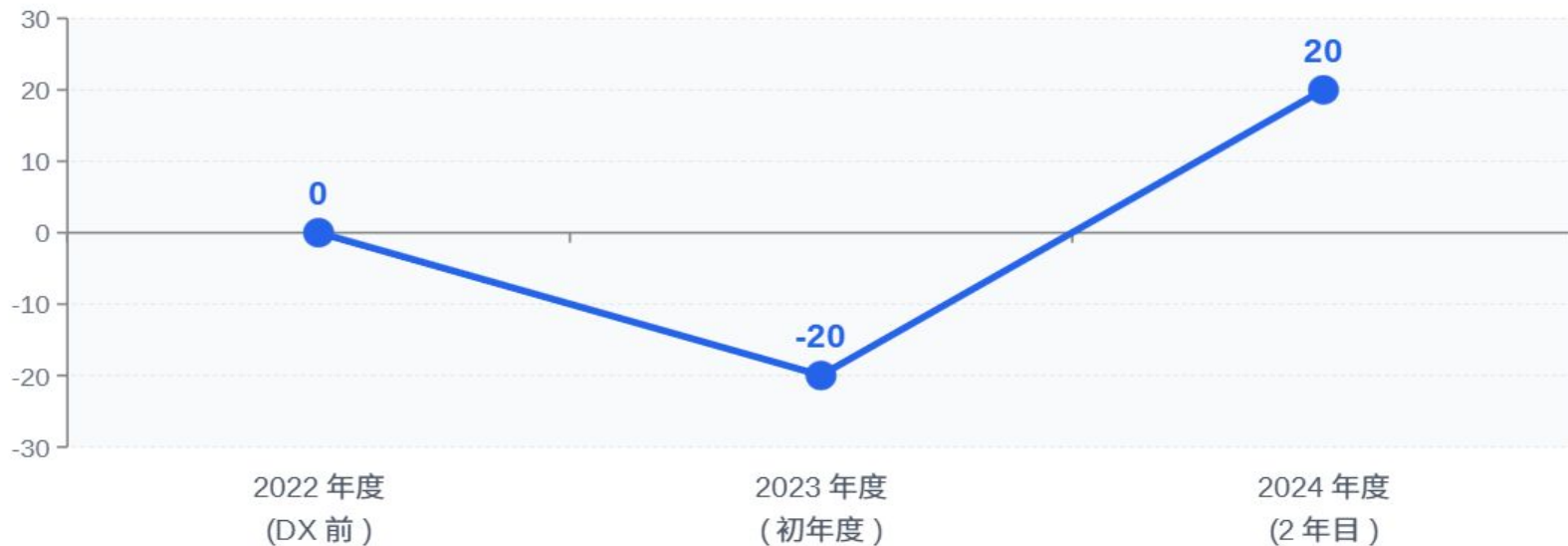
600-800万円

投資回収期間

1.5年

※ 中小企業でも十分に実現可能な投資規模であることを実証しました。

V字回復の軌跡



DX 初年度はシステム習熟の混乱で売上 -20%。しかし「なぜ DX を進めるのか」という目的共有による意識改革を機に、2 年目で +20% の V 字回復を達成しました。

04

成果②

真の目的の達成

「働きがい」と「地域貢献」の両立

定性的成果・社員と子どもたちの笑顔

😊 子どもたちの笑顔が 最大の成果

全社員が17:00定時退社を実現し、地域スポーツ指導に参加することができました。

指導チームは県大会出場を果たし、子どもたちの成長を間近で見守る経験は、社員にとってかけがえのない喜びとなっています。



社員満足度(やりがい)

85% → 98%

05

成果③ 地域・社会への 波及効果

中小企業DXの新たな
「岩手モデル」として

県内・県外へのポジティブな影響



採用応募数

3 倍

「定時退社で地域貢献できる会社」という評判が広がり、若年層を中心に採用応募数が前年比3倍に増加。



取引先への展開

5 社

当社の事例が「SOFTDOING方式」として評価され、取引先企業5社がDXに着手。コンサルティング依頼も増加。



社会的評価

注目度UP

地元メディア掲載や商工会等からの講演依頼が相次ぐ。「中小企業DXのモデルケース」として視察や問い合わせが増加。

VISION

岩手から、未来へ

この「地域貢献型DXモデル」を、
岩手県の中小企業、そして全国へと広げていきます。

- ✓ 利益追求だけではない、社会的価値を生む企業でありたい
- ✓ DXで生まれた時間を、子どもたちの未来のために使う
- ✓ このモデルこそが、私たちの答えです

ご清聴ありがとうございました

SOFTDOING株式会社